

様式2 令和7年度新座市学校評価システム

自己評価書【本評価】

新座市立 栄小 学校

目指す学校像 (重点目標)	「自分が好き、なかが好き、栄が好き」ウェルビーイングを目指し、児童・保護者・地域に信頼される学校づくりの推進
------------------	--

評価項目	No.	質問項目	評価の分布状況	評価 ポイント (1～4点)	評価
組織運営	1	学校は、働き方改革を進めるため、校務分掌や教育課程等を適宜見直し、教職員の意識を高めるよう組織的に取り組んでいる。		2.24	B
組織運営	2	学校は、児童の発達の段階に応じた適切な配慮を行い、一人一人にとって最適な学びを提供するよう努めている。		3.10	A
学力向上	3	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、指導と評価の一体化を重視した授業を展開している。		2.67	A
学力向上	4	学校は、育成を目指す児童の資質・能力を重視した学びを進めている。(学んだ知識・技能や体験から見つけた課題に向き合い、創造力や想像力を発揮して解決しようとする力)		3.05	A
豊かな心の育成	5	学校は、児童一人一人が個の特性を認め合って学校生活を送ることができる環境を整備している。		3.24	A
豊かな心の育成	6	学校は「いじめの防止等のための基本的な方針」に則り対応している。		3.43	S
健康・体力の向上・安全	7	学校は、体育や休み時間などを通じて、児童が意欲的に運動に親しむような取組を行い、体力向上に努めている。		3.24	A
健康・体力の向上・安全	8	学校は、事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。		3.10	A
保護者・地域との連携協力	9	学校は、保護者や地域の方が教育活動を参観できる機会を設けたり、保護者や地域と連携した活動を行うなど計画的に実施している。		3.38	A

S: 目標(設定した項目)を完全に達成できた状況(目標を大きく上回る)  
A: 目標(設定した項目)をほぼ達成できた状態(達成度9割以上)  
B: 目標(設定した項目)を達成できなかった状態(達成度7割以上)  
C: 目標(設定した項目)を達成できなかった状態(達成度7割未満)

